

## 部下を持つすべての方、新任管理者の皆さま向け

部下育成に必須のコミュニケーションスキルを習得！

## 部下を動かす「コミュニケーション力」

開催日：2018年12月18日(火) 10:00～16:45

会場：りそな総合研究所 東京本社セミナールーム

講師：(社)日本経営心理士協会 代表理事 藤田 耕司 氏

略歴：

早稲田大学商学部卒業後、大手監査法人勤務を経て独立。経営の問題を心理学の観点から解決する経営指導を行い、多くの経営者のメンターを務め、上場企業から中小企業まで幅広い企業の人材育成を行う。その経験を体系化した経営心理士講座を東京と大阪で運営すると共に、講演活動も行う。年間講演回数200回を超える。日経新聞をはじめ多くのメディアから執筆・出演依頼を受けている。  
 <著書>「リーダーのための経営心理学」(日本経済新聞出版社)  
 <連載>日経新聞電子版『post 2020 ~次世代の挑戦者たち』、JB PRESS『経営を変える心理学講座』

## 特色

チームのメンバーが高いモチベーションをもち、日々の業務で目標を達成できる環境をつくることは、管理職にとって最も大きな役割の一つです。

本セミナーでは、脳科学や心理学の視点も交えて、部下を効果的に動かすために必要なコミュニケーションのエッセンスを余すことなくお伝えします。部下の「心」と「行動」に働きかけるコミュニケーションの具体的な方法を学んでいただきます。

## カリキュラム

録音・録画はご遠慮下さい。

## 1. 人を動かすための3要素

- (1) アリストテレス説の3要素
- (2) 脳の基本的な構造を知る
- (3) 人間は感情と論理で動く

## 2. 関係欲求と共感する力

- (1) 他者から認められたいという欲求
- (2) 他者を認めるための方法
- (3) 共感による「場」創りと心の扉を開き方

## 3. 「聴く」を理解し、実践する

- (1) 「聞く」と「聴く」の違いとは？
- (2) 聴き上手になるための前提と具体的な聴き方
- (3) 松下幸之助の成功の秘訣は聴くことにあり！

## 4. 質問の力

- (1) 会話の主導権を握る方法
- (2) 認める、聴くための質問
- (3) 聴き上手 = 質問上手 + 共感上手

## 5. 部下を育てる母性と父性

- (1) 自分の更なる可能性を求める成長欲求
- (2) 部下を育てる上で必要な母性と父性とは？
- (3) 強烈な母性と父性を発揮して人を育てたリーダーたち

## 6. 自己承認と部下との関係

- (1) 自己承認、心理的生存競争とは？
- (2) 自己承認の度合いが低い人と高い人の違い
- (3) 上司の自己承認の度合いが部下に与える影響

## 7. 感情の特徴を知る

- (1) 情動伝染とは？
- (2) 上司の感情が業績に影響を与える
- (3) チームの感情の源流はリーダーにあり
- (4) 自らの感情を克服する感情の戦略

## 8. まとめ

- (1) 研修の内容で継続的に実践していきたいことは何か
- (2) 生き方を180度変えた大隈重信

## 参加申込書 (12/18(火) 部下を動かす「コミュニケーション力」)

(\* 個人情報の取扱いに関して「私は貴社の個人情報に関する利用目的を確認、同意の上、申込みをします」)

受講料：会員...23,760円 一般...31,320円 (参加者1名様、消費税等・テキスト代を含む)

本セミナーは連続講座のため、個別受講の場合も無料受講券はご利用いただけません。

B

【FAX ..... 03-3699-6629・6729 りそな総合研究所 行】

貴社名			区分	MS・会員・一般	会員番号		
受講票送付先	〒		連絡担当者	部署・役職			
				ふりがな			
業種(具体的に記入してください)			氏名				
			E-Mail				
TEL	( )	FAX	( )	取引店	支店		
参加者 ( )内に ふりがなを ご記入くだ さい。	氏名	( )	部署	役職			
	氏名	( )	部署	役職			
当社使用欄	替 / 振 (会・個)	入力日 /	発送日 /	受講料 円	作成日 /	発送日 /	同・別

会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のどちらかのお支払い方法になります。[お問い合わせ先]  
 一般の方：受講票とともにご請求書をお送りいたします(原則)。セミナー開催前日までにお振込みください。03-5653-3951  
 \*キャンセルはセミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料全額をいただきます。なお、参加申込みが少数の場合や講師の病気等により、開催を中止させていただく場合があります。 研修担当 (H)